

4 「古典の日」の制定を契機とした伝統芸能の振興

(文部科学省・文化庁)

地域社会に活力を与え、国際社会における日本の理解を一層促進していくためには、日本人自身が日本の心を再認識し、体現させていくことが重要です。

京都市では、京都府、京都商工会議所などと共に、平成20年11月に「古典の日」宣言を行い、平成21年4月には古典の日推進委員会を創設するなど、古典を通じて伝統文化に親しみ、日本の心を次世代に継承していくための取組を進めてきました。しかし、なお日本人の古典離れが進んでいるため、若い世代から古典文学や伝統文化に親しむ気運の醸成が求められます。

また、伝統芸能についても、演者の高齢化や後継者不足、鑑賞者の減少等により、その存続が危ぶまれており、日本文化の象徴である伝統芸能を守り育て、次代にしっかりと引き継いでいく支援策の拡充が急務です。

そこで、法律を根拠とした「古典の日」制定を契機に、古典を学校教育や社会教育、さらに文化芸術等の側面において普及・活用し、教育や文化の振興、次世代の育成等を行うためには、若い世代から古典に親しむ気運を醸成するとともに、次世代にしっかりと引き継いでいく支援策の拡充が求められます。

つきましては、伝統文化に親しみ、日本の心を伝える古典の振興を図るために、次のとおり提案します。

提案事項

- 1 法制定により11月1日を「古典の日」として定めること、並びに古典関連の視聴覚教材や学校図書の実質及び能や狂言など古典芸能鑑賞の機会拡充等、古典に親しむための教育環境整備や文化振興への支援 京都市・京都府共同提案
- 2 伝統芸能の維持発展のための、能楽堂等の「固定資産税の減免措置の継続」及び「相続税における重要文化財と同等の控除」
- 3 伝統芸能を研究・創造・普及するための、国立京都伝統芸能文化センター（仮称）の創設

所管の省庁課：文部科学省（初等中等教育局財務課） 文化庁（長官官房政策課，文化庁芸術文化課，文化財部伝統文化課）

京都市の担当課：文化市民局 文化芸術企画課 計画推進担当課長 櫻井明弘 TEL 075-366-0033
教育委員会事務局 総務部 総務課長 稲田新吾 TEL 075-222-3768

古典に関する取組

平成 20 年 11 月

「古典の日」宣言～千年紀記念式典



- 源氏千年紀経済効果
1,087億円
- 関連催事(主催・後援等)
参加者 430万人
- 新聞関連記事 2,380本
- 特徴
持続的・全国的な拡がり
- * 千年紀委員会発表
(平19・20年度計)

「古典の日」宣言 抜粋

源氏物語千年紀委員会
揺れ動く世界のうちにあるからこそ
私たちは いま古典を学び
これをしっかりと 心に抱き
これを私たちのよりどころとして
世界の人々と
さらに深く心を通わせよう

平成 21 年 4 月

古典の日推進委員会創設

古典の日推進委員会

※敬称略

- 呼びかけ人 千 玄室 (茶道裏千家家元)
梅原 猛 (哲学者)
瀬戸内 寂聴 (作家)
芳賀 徹 (京都造形芸術大学名誉学長) など
- 会 長 村田 純一 (公財)京都文化交流
コンベンションビューロー理事長
- 副会長 山田 啓二 京都府知事
" 門川 大作 京都市長
" 久保田 勇 宇治市長
" 立石 義雄 京都商工会議所会頭

平成 22 年 8 月

「古典の日」制定のための
署名活動スタート

110,077 人の署名

(平成 24 年 5 月 21 日現在)

平成 23 年 11 月

国会議員への要望活動

平成 24 年 3 月

古典の日推進議員連盟設立

古典の日 推進議員連盟

※敬称略

- 顧 問 森 喜朗 (自・衆) 鳩山 由紀夫 (民・衆)
伊吹 文明 (自・衆) 輿石 東 (民・参)
- 会 長 福田 康夫 (自・衆)
- 会長代行 河村 建夫 (自・衆) 前原 誠司 (民・衆)
斉藤 鉄夫 (公・衆)
- 幹 事 長 鈴木 寛 (民・参)
- 事務局長 下村 博文 (自・衆)

◆ 古典の日制定の効果

- ・若い世代の古典回帰
- ・世界に誇れる古典の再認識
- ・古典文学や伝統文化に親しむ
気運の醸成 など

日本の心の
次世代への継承

伝統芸能に関する取組

- 「五感で感じる和の文化事業」
平成21年から開始。伝統芸能をはじめ、それらを支える和の文化を次の世代に引き継ぐべく、生活の中で身近に和の文化に触れ、体験することのできる機会を提供
- 「市民狂言会」
狂言が持っている「親しみやすさ」という利点を活かし、古典芸能への理解を深めるきっかけを提供。
平成24年に第228回目を迎える
- 「京都薪能」
昭和25年に始まり、平成24年に第63回目を迎えた。東山連峰の緑と拝殿の朱を借景に、平安神宮の境内で催され、観世・金剛・大蔵各流の能や狂言を披露